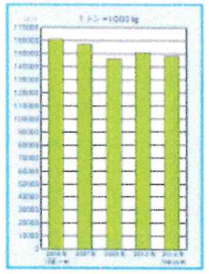
1　くらしとごみ

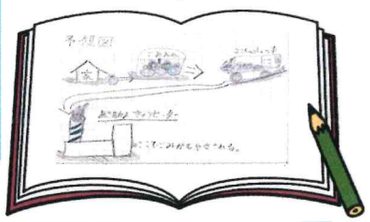
ごみ調べの結果



川口市のごみの量の変化

毎年たくさんのごみが出ているね。

家から出たごみは、集めた後どうなるのだろう。



学習問題　くらしの中のごみは、どのように処理されているのだろう。

ごみステーション

曜日や場所によって、集めるごみの種類がちがうね。

１台でどのくらいのごみを集められるのだろう。

ごみ収集車

川口市で１年間に集められるごみの量は１５万トンだよ。トラック２００台で毎日集めているんだ。

一般ごみの処理

資源ごみの処理

朝日環境センター

２４時間体制でごみを高温で毎日衛生的に処理しているよ。

資源ごみは分別されて、製品の原料となったり、修理したりして再利用されている。

学習問題の結論

ごみは一般ごみと資源ごみに分別され、たくさんの機械や人の手で環境に気をつけて処理されている。ごみの処理の仕方は変わってきていて、今では伝染病や環境破壊がほとんどなくなり、わたしたちの生活もよくなった。

川口市には最終処分場がないから他県まで持っていかなければならない。

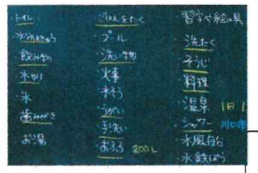
あと１０年するとこの最終処分場はごみでいっぱいになっちゃうんだね。

社会に見られる課題

最終処分場には限りがあり、処分するお金も高くなっている。

ごみの量をへらすためにできることを考えよう。

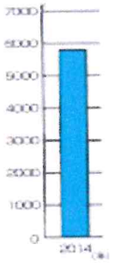
2　くらしと水



水道水はどうしてきれいなんだろう？

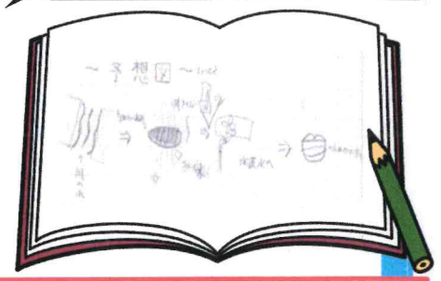
水道水と川の水比較

水はくらしに欠かせないものだね。



川口市の給水量

たくさんの水を使っているね。

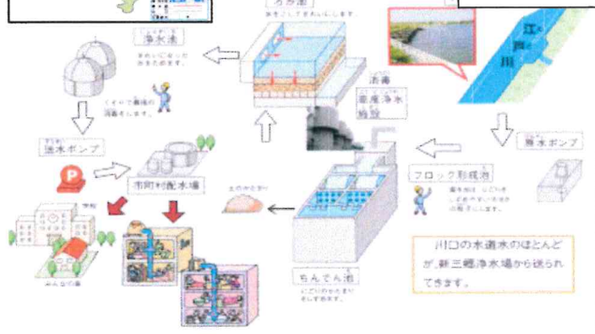


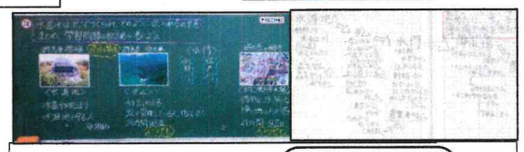
学習問題　生活に欠かせない水は、どこでつくられ、どのように送られてくるのだろう。

川の水源は埼玉県外にもあるんだね。

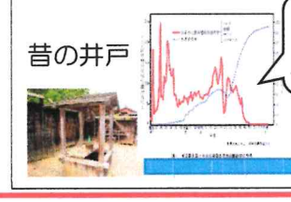
新三郷浄水場は埼玉県の施設なんだね。浄水場の役割を詳しく調べたよ。

新三郷浄水場





昔の井戸



水道が普及し伝染病も減ったね。

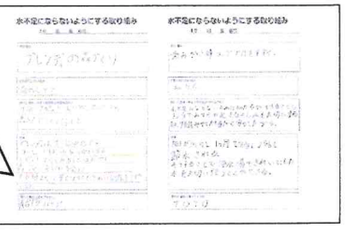
今

学習問題の結論

わたしたちの生活に必要な水は、群馬県や栃木県を水源とし、利根川や江戸川を流れ、新三郷浄水場で様々な機械や施設、働く人によってきれいにされる。県内外の人の協力や様々な人のおかげでいつでも安心・安全な水を飲むことができる。また、きれいで安全な水があることで、わたしたちは病気になることなく生活することができる。

社会に見られる課題

埼玉県は水不足になることが多い。

いつでも水が使えないことがある。

水不足にならないようにするために、私たちが協力できることがたくさんあるね。